

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
企画展開催費	〔債務負担行為〕 90,000 82,875	〔債務負担行為〕 95,000 79,048	〔債務負担行為〕 △5,000 3,827			〈諸収入〉 18,200	〔債務負担行為〕 90,000 64,675	
トータルコスト	149,853千円（前年度 146,120千円）〔正職員：5.5人、会計年度任用職員：8.3人〕							
主な業務内容	企画展の開催							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県の自然、歴史・民俗、美術分野の資料、作品、研究成果等や、世界的・全国的に貴重な作品等を県民に紹介するため企画展を開催する。なお、令和4年度は県立博物館の開館50周年にあたることから、記念する年にふさわしい内容とする。

2 主な事業内容

(単位：千円)

	企画展名	予算額	会期(予定)	内容
春 (人文)	三蔵法師が伝えたもの 奈良・薬師寺の名品と鳥取・但馬のほとけさま	17,554	4月9日～ 5月15日 (35日)	現在の仏教に大きな影響を与えた三蔵法師（玄奘三蔵）と、三蔵法師を開祖とする法相宗の大本山薬師寺（奈良市西ノ京）の歴史と文化を同寺所蔵の名品をもとに紹介し、三蔵法師が伝えた仏教や仏典の影響を受けた県内に残る奈良から平安時代の観音菩薩などの仏像や仏画の名品なども展示する。
夏 (自然)	ティラノサウルス展 ～T.rex 驚異の肉食恐竜～	42,125	6月18日～ 8月28日 (68日)	恐竜の中でも最も有名で人気のあるティラノサウルス・レックスの姿かたちや身体能力、生活様式、進化史などの研究成果を化石標本や全身骨格模型、ロボット、インタラクティブ映像などの多彩な展示により紹介する。
秋 (全分野)	すべてみせます！鳥取県立博物館の50年（仮称）	7,307	10月29日～ 12月11日 (38日)	県内唯一の総合博物館が半世紀にわたり収集・保管してきた県民一人ひとりの財産である資料を可能な限り展示し、博物館の根幹にある資料収集と調査研究の50年を紹介する。
冬 (美術)	安岡信義と鳥取近代洋画のパイオニア（仮称）	15,889	令和5年 2月11日～ 3月21日 (34日)	没後90年を迎える鳥取市出身の洋画家・安岡信義に焦点をあて、これまで未公開であった関連資料の調査を通じ、その画業の全貌を網羅的に紹介する。
	計	82,875		

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

3 債務負担行為 期間：令和5年度 限度額：90,000千円

区分	企画展名（仮称）	会期（予定）
自然	アインシュタイン展	令和5年7月1日～同年8月27日
人文	勾玉の世界	令和5年10月7日～同年11月12日
美術	ミュージアムとの創造的対話04「アートと・・・教育／学び／共有！！？」 Art Education/Learning/Sharing」	令和5年11月23日～同年12月28日
美術	根本幽峨 NEMOTOYugaー鳥取藩絵師 最後の華ー	令和6年2月10日～同年3月20日

4 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・収集・保存、調査研究の推進により展示を充実する。
- ・県民の豊かな学びを支援する。
- ・調査研究を行い、新たな知見を紹介する。

<取組状況>

鳥取県の自然・歴史・美術に関する知見や新しい研究成果及び普段ふれることのできない世界的・全国的に貴重なものなどを、企画展として広く県民に紹介してきた。

<改善点>

令和2年度は、多くの企画展が目標入館者数を突破することができた。届かなかった企画展も含め、引き続き報道機関と実行委員会形式で開催する企画展のさらなる拡充や、SNSを活用した情報発信のさらなる強化により、来館者増につなげることが必要である。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館運営費	103,468	110,471	△7,003		<4,500> 9,000	<使用料及び手数料1,828 財産収入542 諸収入629> 2,999	91,469	県費負担 95,969
トータルコスト	163,634千円（前年度 170,697千円） [正職員：4.6人、会計年度任用職員：8.4人]							
主な業務内容	会計事務処理、来館者対応、防虫・防菌対策							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県民に快適な鑑賞環境が提供できるよう、来館者等から意見を聞きながら博物館施設の運営を行う。近い将来に予定している博物館改修について、平成30年6月策定の博物館改修整備基本構想（中間まとめ）をより具体的な計画にするよう検討を行う。また、博物館が収蔵している約17万点におよぶ資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
管理運営費	89,211	<ul style="list-style-type: none"> ・各種設備等管理・保守等業務・変圧器取替工事委託費 ・博物館運営に係る光熱水費及び施設修繕費 ・鳥取県立博物館振興会（ミュージアムショップ運営団体）補助金 ・全国博物館協会等加入負担金 ・その他一般事務費
博物館協議会開催費	1,360	・博物館改修計画等、博物館運営に関する協議等（開催回数3→5回）
広報その他事業費	9,367	<ul style="list-style-type: none"> ・各種展示等広報及び企画展図録作成経費 ・図書資料の購入経費 ・開館50周年記念行事（開幕セレモニー、図録等）
収蔵資料管理費	3,530	・防虫・防菌対策
計	103,468	

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

博物館が円滑に運営できるよう、来館者の応接や施設及び設備の維持管理等を行う。

<取組状況>

- ・新型コロナウイルス感染症対策について、前年度に引き続き感染状況を考慮しながら行い、安心して来館していただける環境を整えた。
- ・来館者へのアンケートを通して要望等を聞きながらサービス向上に向けて取り組んでおり、博物館全体に対する満足度はかなり高く、好評を得ている。
- ・今後の広報活動について、範囲を拡充するとともに、より早い時期から実施していく。
- ・日常的な温湿度管理、害虫等の監視や侵入防止に努めるとともに、温湿度等のモニタリング結果を踏まえた毎月の対策会議の開催や定期的な館内一斉清掃等により、薬剤のみに頼らずに博物館資料の保全環境の維持・向上を図っている。
- ・博物館協議会を開催し、博物館が実施している事業について様々な立場から意見をいただいた。
- ・ミュージアムショップではこれまで製作した博物館オリジナルグッズを販売したり、図録やその他のグッズも充実させた。

<改善点>

引き続き現在の取り組みの維持・充実に努めるとともに、さらに効果の高い取組等を積極的に導入し、収蔵資料を的確に保全・管理していく。

（注）起債欄の〈 〉書きは交付税措置額を除いた額である。
県費負担額は、起債欄の〈 〉書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館交流事業	580	1,168	△588				580	
トータルコスト	2,946千円（前年度 3,544千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	連絡調整等							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

新型コロナウイルスで中断している中国河北省博物院、韓国江原道国立春川博物館、ロシアアルセーニエフ極東歴史博物館との交流について、新型コロナウイルスの状況を見ながら再開する。また、新型コロナウイルスの流行前にモンゴル国中央県立博物館から交流の打診を受けており、新たな交流の可能性等についての検討を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
中国河北省博物院	220	河北省博物院を訪問し各館の活動内容や調査研究、特に歴史・民俗分野について意見交換等を行う。 〔平成10年6月 友好交流館として協定締結〕
韓国江原道国立春川博物館	115	国立春川博物館の職員を受け入れ、今後の両館相互の博物館交流、特に美術分野について意見交換等を行う。 〔平成22年12月 友好交流及び協力に関する協定締結〕 〔平成23年12月 職員相互派遣に関する合意書締結〕
ロシアアルセーニエフ極東歴史博物館	245	アルセーニエフ極東歴史博物館を訪問し、今後の両館相互の博物館交流、特に普及啓発活動について意見交換等を行う。 〔平成22年9月 友好交流及び協力に関する協定締結〕
モンゴル国中央県立博物館	—	モンゴル国中央県立博物館との交流事業について検討する。
合計	580	

※新型コロナウイルスの影響等を踏まえ、事業実施の可否を判断

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

中国河北省博物院、韓国江原道国立春川博物館、ロシアアルセーニエフ極東歴史博物館との相互派遣を通じて、友好的な国際交流の一端を担う。

<取組状況>

(1) 中国河北省博物院との交流

令和元年12月から令和2年3月まで「日本因州和紙芸術展」を河北博物院で開催し、当館所蔵の民芸品（因州和紙）を展示した。

(2) 韓国江原道国立春川博物館との交流

令和元年10月に当館職員が訪問し、美術分野を中心とした交流に関する協議を行った。

(3) ロシアアルセーニエフ極東歴史博物館との交流

令和元年12月に来県され、当館の企画展（塩谷定好展）・常設展をはじめとする各施設の視察や、交流協議を行った。

<改善点>

相手方の都合や新型コロナウイルスの状況等もあり、今後も関係部局とも連携をとりながら事業を進めていく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自然事業費	5,387	5,363	24				5,387	
トータルコスト	33,944千円（前年度 33,998千円）〔正職員：2.9人、会計年度任用職員：2人〕							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

自然資料（地学・生物）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
自然事業費	5,387	・自然資料の製作、購入、修復、及び収蔵資料の保存、整理 ・収蔵資料に関する調査研究 ・常設展示の更新とメンテナンス ・移動博物館や派遣講座等
貝類標本整理事業	-	・会計年度任用職員人件費（2年次／3年計画）（※）
計	5,387	

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・収集・保存、調査研究の推進による展示の充実。
- ・新たな知見を紹介し、県民の豊かな学びを支援する。

<取組状況>

- ・新しく収集した資料及び調査研究成果を常設展示の展示替えに反映させ、また、移動博物館等に利用し、広く県民に紹介した。
- ・一部、新型コロナウイルス感染拡大の防止に対応した展示に変更した。
- ・貴重な寄贈コレクションの整理及び調査を進め、その成果を展示や研究報告等で紹介した。

<改善点>

- ・コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を踏まえた、収蔵資料の整理と充実及び展示計画等を行っていく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
人文事業費	11,333	11,263	70				11,333	
トータルコスト	56,308千円（前年度 56,315千円）〔正職員：3.9人、会計年度任用職員：5人〕							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
人文資料（考古・歴史・近現代・民俗）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。								
2 主な事業内容								
（単位：千円）								
項目名	予算額	内容						
資料収集・研究	3,181	・資料購入などの収集、収蔵資料の修復や整理、資料価値を高める調査研究						
常設展示の充実	1,316	・常設展示室の運営・維持管理・展示更新等 ・床貼絵図を製作して、江戸時代の鳥取・倉吉・米子の町を展示紹介						
鳥取藩政資料の活用	6,836	・鳥取池田家藩政資料を計画的に補修して保存、情報発信						
計	11,333							
※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。								
3 事業目標・取組状況・改善点								
<事業目標> ・収集・保存、調査研究を推進し、展示を充実する。 ・資料のデジタル化を促進するとともに職員のデジタルに関するスキルアップを図り、「とりデジ（とっとりデジタルコレクション）」を充実する。 ・新たな知見を紹介し、「ふるさとキャリア教育」の視点に基づき、県民の豊かな学びを支援する。								
<取組状況> ・政策目標に向け順調に推移しており、資料の収集、保存、修復等に努めるとともに、しっかりとした調査研究に基づき、魅力ある展示等を実施した。								
<改善点> ・コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。 ・鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を踏まえた、収蔵資料の整理と充実及び展示計画等を行っていく。								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8045）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術事業費	13,735	14,802	△1,067				13,735	
トータルコスト	38,182千円（前年度 39,357千円） [正職員：3.1人]							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

美術資料（絵画・彫刻・工芸・写真等）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
資料収集研究費	12,672	<ul style="list-style-type: none"> ・美術事業や展覧会に関する調査研究 ・郷土の美術作家に関する調査研究 ・保存、展示のための資料修復 ・画廊、作家遺族、作家等からの情報収集及び資料収集 ・美術品収集に係る収集評価委員会の開催
常設展示費	1,063	・近世及び近現代の美術資料の展示公開
計	13,735	

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・県民の豊かな学びを支援する。
- ・調査研究を行い、新たな知見を紹介する。
- ・収集・保存、調査研究の推進により展示を充実させる。

<取組状況>

- ・事業目標を実現するため、計画的に各種事業を進めている。今後も、資料の収集、保存、修復等に努めるとともに、しっかりとした調査研究に基づき、魅力ある展示等を実施する。
- ・近代美術展示室（2階）では、収蔵品に新たな視点や研究の成果を加えた年3回程度のテーマ展示を県民に提示している。また、テーマに沿った内容の他館収蔵品あるいは個人所蔵品などを当館収蔵品と一緒に並べて展示することで、より魅力的な展示（相乗効果）を提示できるよう努めている。
- ・鳥取県の画家などの作品調査や情報収集を積極的に行い、収集評価委員会での審議を経て美術作品を収集し、コレクションの充実に努めている。
- ・収蔵作品の修復は、作品状態と展示予定等を鑑み、優先順位を見直しながら計画的に行っている。

<改善点>

- ・コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を踏まえた、収蔵資料の整理と充実及び展示計画等を行っていく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館普及事業費	7,935	7,319	616				7,935	
トータルコスト	35,226千円（前年度 34,706千円）〔正職員：3.1人、会計年度任用職員：1人〕							
主な業務内容	博物館普及活動							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。また、県内の小・中・高校生には、ふるさと鳥取の良さを感じ、誇りに思い、地域に貢献しようとする人材や、遠くに離れていてもふるさと鳥取を思い、鳥取を支えるような人材の育成につなげる「ふるさとキャリア教育」に取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
学校教育支援事業費 （鳥取県立博物館『ふるさとキャリア教育』学習プログラム）	929	・博物館資料の館内外での活用を促進するとともに、博物館の持つ専門知識や情報を学校教育活動やその対象となる児童生徒に提供する。 ・博物館と学校との連携推進を目的とした「教員のための博物館の日」の開催及び「学校向け貸出し教材」を整備する。
生涯学習支援事業	5,163	・館内外で各種講演会、ワークショップ、観察会等を開催するとともに、博物館の資料や作品を県内各地で見学・鑑賞してもらう移動博物館・移動美術館を開催する。
情報発信事業	1,843	・ホームページ等を通して、生涯学習支援、学校教育支援、博物館の収蔵品に関する情報を広く発信する。研究報告、普及誌等の印刷物経費。
計	7,935	

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・常設展示・企画展の充実、教育振興計画に掲げた入館者目標値の達成
- ・楽しく学べる教育普及プログラムの充実、教育振興計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の達成
- ・来館者サービスの向上

<取組状況>

- ・コロナ禍でも開催できるよう、プログラムやワークショップの内容を変更して密を避けるよう工夫した。
- ・県民協力団体と連携した講座を開催した。
- ・企画展関連のプログラムを設定した。
- ・移動博物館、移動美術館を実施した。また、学校からの展示希望について「出前展示」として実施した。
- ・ホームページ、SNS等を積極的に活用した広報を展開した。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入場者数の制限や講座内容を一部変更したほか、オンラインと対面のハイブリッド形式の講演会や学校とのオンライン展示解説も実施した。
- ・「スマホで変形菌観察会」や「因幡の古墳を観察してみよう」と題して、地域素材を活かした講座を実施した。
- ・様々なメディアを利用して効果的な広報を図った。

<改善点>

- ・コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・イベントや講演会のオンライン開催など、より一層、様々なメディアの利活用を図っていく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8045）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業	1,310	1,410	△100				1,310	
トータルコスト	6,042千円（前年度 6,163千円） [正職員：0.6人]							
主な業務内容	T.M.N.への補助業務、T.M.N.事務局としての指導と加盟館等との連絡調整及び進捗管理							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
<p>県内の博物館、美術館、歴史民俗資料館、考古資料館等で「鳥取県ミュージアム・ネットワーク」（以下「T.M.N.」という。）を組織し、県内の博物館等の連携基盤を確立する。各館の運営や事業の発展向上を図るため、研修会や共同企画展を開催する。</p>								
2 主な事業内容								
T.M.N.が行う次の事業を補助する。 （単位：千円）								
区分	予算額	内容						
T.M.N.への補助金交付	1,310	<p>T.M.N.が加盟館を対象にして実施する次の事業に補助する。</p> <p>《美術館等協力連携推進支援事業》</p> <p>平成29年に策定した「T.M.N.美術館等協力連携計画」に掲げた方針を具現化する取組。</p> <p>（1）加盟館学芸員による専門部会（会議）の開催</p> <p>（2）加盟館学芸員の資質向上を目的とした研修会の開催</p> <p>（3）共同企画展の開催</p> <p>※博物館資料アドバイザー派遣事業は令和3年度で終了</p>						
3 事業目標・取組状況・改善点								
<p><事業目標></p> <p>県内の美術館、博物館等の連携基盤の充実、及びネットワークの強化</p> <p><取組状況></p> <p>平成29年度末に「鳥取県ミュージアム・ネットワーク美術館等協力連携計画」を策定し、その後は具体的な取組を行っているところであるが、その1つとして令和2年度より共同企画展を開催している。（令和3年度は日南町美術館で開催）</p> <p><改善点></p> <p>共同企画展を開催・支援することで、より発信力を高めていく。</p>								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立美術館整備推進事業	97,933	64,780	33,153				97,933	
トータルコスト	121,591千円（前年度 76,662千円）〔正職員：3人〕							
主な業務内容	PFI円滑導入推進事業 等							
工程表の政策内容	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和7年春に開館予定の鳥取県立美術館について、PFI方式により着実に整備及び開館準備業務を進める。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
整備・運営経費 （サービス対価）	PFI方式で整備・運営を行っていく県立美術館について、契約以後20年間に渡り、四半期毎の実績に基づき、事業者によりサービス対価を支払う。（債務負担行為設定済）	74,017
PFI事業円滑導入のための外部アドバイザーへの委託料	PFI事業においては事業者により提供されるサービスが要求水準や事業契約の内容を満たしていることを業務監視する必要があるため、金融・財務・建設技術に関する知見やPFI事業に関するノウハウを有する外部アドバイザー事業者（コンサルタント）の支援を受けつつ実施する。	15,048
（新）美術館建設現場仮囲いへのアート展示	工事着工に伴い設置した仮囲いを活用し、県の文化・芸術施策との協働を図ると共に、県立美術館への親しみをより感じてもらい、機運醸成に繋がる仮囲いアートを実施する。	3,000
その他事務費		5,868
合計		97,933

3 開館までのスケジュール

時期	概要
令和2年3月	本契約
令和2年4月～	基本設計
令和3年1月～	実施設計
令和4年1月～	建設工事着工、安全祈願祭・起工式
～令和6年3月	建物完成引渡し
令和6年度	建物枯らし・開館準備（収蔵作品移転等）
令和7年春	開館（令和6年度中）（運営期間：～令和22年3月）

4 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

事業スケジュールどおり、開館準備業務・建設工事管理を実施する。

<取組状況・改善点>

PFI・BTO方式により整備・運営を行うこととなり、令和2年1月に事業者を選定、同年3月に事業契約を締結し、令和2年4月以降基本設計・実施設計・工事着手を実施している。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「県立美術館」実現プロジェクト事業	9,129	5,012	4,117				9,129	
トータルコスト	24,901千円（前年度 16,893千円）〔正職員：2人〕							
主な業務内容	県民の意見を美術館運営に反映する仕組みづくり、美術ラーニングセンター検討、「県立美術館」普及啓発							
工程表の政策内容	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県立美術館の令和7年春開館に向けて、県内の文化芸術に係る団体や教育現場等と連携した「県民立」の美術館づくりを進めると共に、県民の機運を醸成する活動を進める。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
(新)「県立美術館」実現プロジェクト	県内の文化芸術や地域づくり等に係る団体や利用者等の意見や要望等を美術館運営に反映する仕組みをつくる。 ○(新)「県立美術館」実現に向けた意見交換会(仮称)の開催 ○県立美術館パネル巡回時に県民からの意見箱の設置	244
「美術ラーニングセンター(仮称)」機能の充実に向けた検討事業	「美術を通じた学び」を支援する美術ラーニングセンター(仮称)機能を有効なものとするため、子どもたちが美術作品やアーティストと出会う機会の提供や、美術館と学校との連携、館内外での教育普及事業に係る実践と調査研究を行う。 ○小学校の県立博物館美術展等への招待 ○対話型鑑賞ファシリテーターの養成(一般ボランティア、学生等) ○県立博物館所蔵作品の「コレクション宅配便」による鑑賞授業等 ○子どもたちをはじめ幅広い年齢層に楽しんでいただける「美術をめぐる場をつくる」展覧会の開催 ○(新)オンラインによるワークショップの開催 等	3,510
「私たちの県立美術館」普及啓発事業	美術館を支える県民を増やすとともに、美術の新しいファンづくりや機運醸成を図る取組を行う。 ○美術館づくりワークショップ「アートの種まきプロジェクト」 ・フリーペーパー「Pass me!」発行 ・(新)アートを通じたコミュニティづくりのための拠点づくり ・(新)トークイベントの開催 ・(新)アートを通じた地域資源の発掘プロジェクト(仮称) ○「県立美術館」実現に向けた地域ネットワーク形成支援補助金 ○鳥取県美術館フィールド(敷地・建物)を活用した建築人材育成支援補助金	5,375
合計		9,129

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

令和7年春開館に向けて、県内の文化芸術に係る団体や教育現場等と連携し、「県民立」美術館として開館準備業務を進めると共に、建設工事現場を活用し、県民や関係者の機運醸成・建築人材の育成を図る。

<取組状況・改善点>

令和7年春開館に向けて「県立美術館」を実現するため、県内全域の文化団体等を中心に出前説明会を開催するとともに、ボランティアや友の会等の県民参画の仕組みづくりの過程で「県民・団体との対話会」を開催するなど、PFI事業者と一体となって全県的な機運醸成を図っている。

また、鳥取県立美術館の特色の一つである「美術ラーニングセンター(仮称)」の具体的な機能の構築については、教育現場等と連携して実践を通じた情報の収集・分析・蓄積等を行っていく。

令和4年度一般会計(5月)補正予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）

3目 博物館費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
[債務負担行為]鳥取県立美術館整備推進事業	97,933	[債務負担行為] 172,066 0	[債務負担行為] 172,066 97,933				[債務負担行為] 172,066	
トータルコスト	121,591	789	122,380	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	3.0人	0.1人	3.1人	P F I事業者との調整、契約事務				
工程表の政策内容	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和7年春に開館予定の県立美術館については、P F I手法により整備及び開館準備業務を進めている。

令和4年1月から着工したところであるが、急激な資材の高騰、労務費の上昇に伴い、建設費が大幅に上昇する状況となったため、県・P F I事業者で契約書第75条に基づく協議により高騰額を両方で負担することとし、県負担額については県へ建物引渡し完了する令和5年度に支払う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	項目	金額	備考
①	高騰総額	372,346	R 2.3時点（契約時点）の単価とR 4.3時点（最新の単価改定時点）の比較 うち、資材300,747千円、労務費71,599千円
②	入札時の県仕様を上回る部分の精査・効率化等	110,000	美術館のレベル・クオリティを落とさず、精査・効率化を図る。 収蔵庫内免震装置台数精査（収蔵方法を工夫し対応）、展示室箱形展示ケース台数精査、非常用発電機仕様見直し等
③	差引	262,346	①－②
④	事業者負担額	90,280	契約時建設工事費総額（6,018,639千円）の1.5%
⑤	県負担額	172,066	契約時建設工事費総額の1.5%を超える部分を負担 （③－④）

3 事業者負担割合の考え方

- ・ P F I事業では、入札時点では想定できなかった急激で著しい物価上昇等への対応は、発注者と受注者が協議の上、基準を決定する必要がある。
- ・ 公共工事においては事業者負担割合1.0%を適用させるところ、本事業はP F I事業であることに鑑み、公共工事標準請負契約約款逐条解説において経営上最小限必要な利益まで損なわれないよう配慮した基準と解説されている事業者負担割合1.5%を適用させることとした。

4 今後の予定

令和4年5月議会
令和4年9月議会

予算（債務負担行為）提案 ⇒ 予算成立後、仮契約を締結
契約変更に係る議案提案

令和6年2月議会

※令和5年度当初予算成立後、2月議会までに精算変更及び銀行借入利息精算に係る仮契約を締結
契約変更に係る議案提案
※変更契約に係る支払いは県へ建物引渡し完了する令和5年度末を予定

令和4年度一般会計(5月)補正予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）

3目 博物館費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 地域でつくる美術館応援事業	0	5,000	5,000				5,000	
トータルコスト	0	5,789	5,789	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	県立美術館の開館効果を県全体に波及させるプロジェクトに係る補助業務等				
工程表の政策内容	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
<p>令和7年春に予定される県立美術館の開館効果を県全体に波及させるプロジェクトとして地域や関係施設等による県立美術館開館に向けた取組を応援することで、県立美術館の効果的なPRや地域活性化につなげていくとともに地元の機運を醸成していく。</p>								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
項目	金額	内容						
美術館開館に向けた機運醸成等に係る催事等への支援	5,000	<p>○地域で活動する団体等が取り組む美術館開館に向けた機運醸成及び地域活性化につながる取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助対象：催事等開催に係る経費 ・ 補助率：2/3（限度額：1,000千円、5件程度） 						
3 事業目標・取組状況・改善点								
<p>美術館開館に向けた全県の盛り上がり、機運醸成を図る必要があり、地元である中部地区で実施する機運醸成に係る催事等を応援し、中部地区から全県へと波及する効果的なPR、機運醸成を図る。</p>								

令和4年度一般会計(5月)補正予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）

3目 博物館費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）全県美術館構想に向けたネットワークづくりスタートアップ事業	0	3,670	3,670				3,670	
トータルコスト	0	4,459	4,459	（補正に係る主な業務内容） 全県美術館構想に向けたネットワークづくりに係る補助業務等				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人					
工程表の政策内容	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
<p>県内のどこに住んでいても県立美術館を含む各施設の文化的サービスを楽しむことができるようにするため、県立美術館と県内の他の美術館及び文化施設との間で協力・連携のネットワークづくりを推進するとともに、地域の学校など身近なところでも文化芸術に親しみを感じてもらい、新しい文化の創造・発展へとつなぐ取組を開館3年前に先行して実施し、全県的に推進していく。</p>								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
	項目	金額	内容					
①	美術館連携促進事業	2,500	<p>○県内美術館等が県内外の美術館等と連携し実施する展示事業の開催経費を支援する。 ・補助対象：展示事業に係る作品の輸送や広報等に係る経費 ・補助率：10/10（限度額：500千円、5件程度）</p>					
②	学校所蔵芸術作品調査事業（身近なアート作品掘り起こし）	1,170	<p>○県内各学校に所蔵されている芸術作品の掘り起こしを行い、その作品の価値や背景を調査して公開することで、作品に光をあてるとともに、児童生徒や地域の住民が文化芸術に親しむ機会につなげる。</p>					
	計	3,670						
3 事業目標・取組状況・改善点								
<p>美術館開館に向けた全県の盛り上がり、機運醸成を図る必要があり、県内全域で美術に触れる環境づくりや美術館開館のPRを行うことで、より多くの県民へ文化芸術に親しみを持ってもらうとともに県立美術館への意識付けを図る。</p>								